



洋書輸入協会会報

Vol. 28 No. 6 (通巻325号) 1994年6月

定 時 総 会 報 告

1994年度定時総会は5月20日(金)午後1時から、ホテル・サンルート東京〔芙蓉の間〕にて開催された。

高橋総務委員長(丸善)の司会により開会。先ず神田事務局長より出席状況報告及び1993年度入・退会々員の紹介があった。

〔出席状況〕 出席 52社 委任状 35社 計 87社
正会員数103社に対して過半数の出席を得たので、協会規約第30条により総会は成立した。

〔入 会〕 正 会 員：(株)絵本の家・西山羊書(株)

賛助会員：チャーチル・リビングストーン社

〔退 会〕 正 会 員：(株)オリオン

賛助会員：バターワース出版社・パーガモンプレスジャパン

ハイネマン・インターナショナル日本支社

海老原理事長の開会挨拶《別掲》に続いて中田理事長代理より'93年度の理事会活動につき、概略次のような報告があった。

- ・日本経済新聞コラムの洋書価格批判に対して医学書院・石原常務名で反論した。〔会報“参考資料”参照〕
- ・東京国際ブックフェア94運営・実行委員会に参画。主催者の一員となった。
- ・昨年10月の第25回をもって“洋書まつり”を閉幕した。
- ・若手実務者を対象とする“懇親ビアパーティ”を毎年7月に開催することとした。

・事務局職員規定、会費規定および弔意・見舞金規定を改訂した。

・常設の委員会を総務、会報、広報渉外、事業、ダイレクトリ、文化厚生(の6)委員会で編成することとした。

・独 Libri 社を中心とする欧米取次7社々長の視察団とJBIA 理事社との懇談会を開催した。(1994年5月11日)

次いで委員会報告に移り、総務(高橋/丸善)、会報(杉山/日本出版貿易)、広報渉外(佐々木/第一出版貿易)、事業及び小売専門(服部/国際書房)、ダイレクトリ(杉山/日本出版貿易)、雑誌 NM(山川/ユサコ)及び文化厚生(吉本/紀伊国屋)の各委員長・副委員長よりそれぞれ活動報告がなされた。

この後海老原理事長を議長として議事に入り、理事会提案の2議案が上程された。

1. 1993年度決算案

高橋総務委員長の内容説明の後、山縣監事(内外交易)の監査報告があり、拍手を以て可決・承認された。

2. 諸規定改訂案

事務局職員規定、会費規定及び弔意・見舞金規定の一部を改訂した。協会規約上はこの内〔会費規定〕のみが改訂にあたって総会の議決を要するが、この機会に3規定改訂を一括提案することとした。

定時総会報告	1	お知らせ	3	東京の坂と橋と文明開化(46)	5
総会懇親会	3	うちの会社	4	洋書輸入協会史(7)	6
理事会報告	3	海外ニュース	4	広 告	8

事務局職員規定の内、休暇の付与については本年4月1日改定の労働基準法に準拠すべきとの意見が出され、この項を修正することとして全会一致で承認された。

以上の提案と議決を以て理事会は本総会に於ける任務を終え任期を満了したので、選挙管理委員会による役員改選に移った。

【選挙管理委員会】

委員長：関野氏（トッパン）

委員：福本氏（福本書院）小林氏（富士洋書）

前川氏（タトル商会）村山氏（ゲーテ書房）

岡見氏（フランス図書）田中氏（海外出版）

鶴氏（東亜ブック）和田氏（大洋交易）

神田氏（事務局）

【開票結果】

理事 投票総数 84票（有効 81票）

当選 丸 善、紀伊国屋
洋 販、医学書院
日本出版貿易、U P S
極 東 書 店、

次 点 アカデミア・ミュージック

監事 投票総数 84票（有効 79票）

当選 南江堂、三省堂

次 点 ユ サ コ

※日本出版貿易が第二位の票を得たが、理事にも当選しているため、次点の三省堂を繰上当選とした。又次々点の丸善、UPS、ユサコが同得票数であったが、同様の理由によりユサコを次点とした。

続いて当選7社による新理事会が開催され互選の結果海老原熊雄氏が新理事長に再任された。同時に常設委員会の委員長も互選により以下のように決定した。

【委員会名】 【委員長】

総 務 医 学 書 院

会 報 日本出版貿易

広報渉外 丸 善

事 業 洋 販

ダイレクトリー U P S

文化厚生 紀伊国屋

海老原理事長の就任の挨拶があった後、新理事会より1994年度予算案が提出され（内容説明：高橋総務委員長）、拍手を以て可決・承認され全議事を終了した。

この後、各新委員長より担当委員会PRを兼ねた自

己紹介があり、吉本理事（紀伊国屋）の次のような挨拶を以て総会を終了した。

吉本理事挨拶《要旨》

『新しい理事会及び委員長がめでたく選任されましたが、消費税、内外価格差など対外的にも大きな問題を抱えており、協会各社のより一層のコミュニケーションにつとめて、一致協力して解決につとめていただきたいと思いますので、ご協力をお願いします。』

総会終了後、恒例の懇親パーティーに移ったが本年度は旅行会の代わりにこのパーティーを盛大に催すこととし、広く参加を呼びかけたので総勢100名を超す盛況であった。

以上

海老原理事長ご挨拶

『先進国経済に明るさが出てきたものの、高い失業率や雇用情勢の悪化が各国共通の悩みとなっています。経済企画庁は去る10日わが国の5月の月例経済報告を発表しました。それによると、「一部に明るさは見られるものの総じて景気低迷が続いている。」という、4月と同じ見出しを出しました。従って、今回の不況は戦後最長だった第二次石油危機の36カ月を抜く可能性が出てきたようです。』

「これ以上円高が進めば日本の製造業は成り立たない。」とまで日本の代表的輸出企業の社長にいわしめたように、現在雇用か採算かの選択に経営者は苦慮しており、新規採用中止どころか何千人規模の減員をせざるを得ないという、厳しい状況の記事が新聞紙上を賑わしております。

このように、企業が生き残りに必死になっている状況を知ってか知らずか、わが国の政局は混沌と離合集散のただ中にあり、不況対策への本格的取組も予算審議もままならず、極めて先行き不透明の現状がいつ迄続くのでしょうか。

いまの日本はもはや「追いつき追い越せ」が終わり、国内的にも国際的にもわれわれが自らの手で新しい需要、新しい市場を創りだして行かなければならない時代になって来ました。先進国社会の役割が『知識・情報主導社

会』の方向へと変化しつつあるという実態も、どうやら社会的コンセンサスが得られつつあるようです。特に、日本は東西文化の吸収・消化能力は抜群ですから、この調子で努力して行けば21世紀の主役が日本であることを自信をもってよいのではないのでしょうか。

当協会もこうした展望を常に念頭に置き、会員全員が力を出し合って今後の進路、社内体制の整備、顧客ニ-

ズへの対応、国際的ロジスティックスの動向などを見定めた行動修正を図って行けるよう運営することが個々の企業の体質強化にとっても大切であり、また日本全体の文化にも寄与することになると信じています。

終わりに、会員皆様のご発展を祈念してご挨拶いたします。』

1994 年総会懇親会

(1994. 5. 20.)

例年、総会後の懇親会は、年1回の合同懇親旅行が行われて来た。昨年は、その通例を破って、総会と旅行を同時開催した。本年は、理事選挙年であり、総会後に懇親会を行うこととした。いずれにしろ、総会と懇親会の間にタイム・ラグを置かない方がよいのではないかと考える方が基本にある。その理由は、懇親旅行の参加者が年々暫減しており、その退潮傾向を食い止めたいことにあった。その対応策は、予想を越えた。本年の懇親会参加者は、80名前後と読んで準備を進めたが、実際は、69社110名の参加者となった。

当初の予定では、総会と懇親会は別の場所（隣の部屋）で行うこととし、総会が終り次第「さあ、どうぞ、どうぞ」と誘うというスマートな形になる筈であった。それが、当初の部屋では収容しきれないことが判明したため、急拠、総会の部屋とプチ抜きで使うこととなった。更に、総会終了予定4時が延長された。その後は、懇親会参加者の方は、ご存知の通りやたらとあわただしい事になったわけで、結果的には担当者の不手際になった点、

この場を借りてお詫びを申し上げます。

懇親会の始めの部分は、私は受付でゴチャゴチャしていたので良くわからないが、海老原理事長が「吉本さんや鶴さんのようにいつも元気なJBIAにしたい……」という挨拶の一部がチラと聞えた。途中からパーティに参加したが、空きっ腹に差し入れのウオッカをぐいぐいやって、あっという間に酩酊して、誰とどんな話をしたか記憶にないので定かな話は書けない。ただ、最後の中めめ（妙な日本語！）で、イタリア書房のとてつもなく素敵な御法川仁奈さんが可愛らしく三本めめをしたのを、吉本さんや榎本さんがアッケにとられて見ていたのは良く覚えている。

パーティが終わって名札なんかを整理していると、我々の会場を次に使う“津和野観光協会”の方々が増いのハッピーを着て集まりだした。JBIAの懇親旅行に津和野も良いと思った。

(紀伊国屋書店・尼子記)

理事会報告

6月9日(木)

(一) 4月、5月分収支報告

6月6日(月)開催の総務委員会で審議の総務委員長報告を承認した。

(二) 委員会新編成

同日、総務委員会にて調整した新常設委員会に参加の各会員の構成が前総務委員長より報告され、審議したが、一部の会員の参加再確認を残し略原案通り承認した。なお、委員会参加者の氏名登録については、参加会員の良

識に従い特に行わないこととした。

お知らせ

オックスフォード大学出版局より次の通り支配人の交代および大阪事務所の移転通知がありましたのでお知らせします。

新支配人：スティーブ・ジュコスキー

新大阪事務所：大阪府吹田市豊津町13-44

ユカミ江坂ビル802

☎ (06) 368-9213

三洋出版貿易(株)東京本社は下記新住所へ移転しました。

〒160 東京都新宿区西新宿 3-11-16

第2 太閤ビル 3 階

電話番号 03-5351-3021(代)

FAX番号 03-5351-3028

(業務開始日 平成6年6月27日(月))

うちの会社

ゲーテ書房

洋書業界の系図を作るとしたら膨大なものが出来るのではないか。大手或いは中小の洋書店で習業を重ねやがて独立して業界の一員となりそれぞれの特徴を生かしてこの業界が形成されている。そんな中であって全く系図に載らないのがこの会社ではなかろうか。

戦後の混沌とした状況の中で本好きの現村上社長によって異業種の会社の子会社として1950年に誕生した。洋書は全くの素人であったが人文系ドイツ書のみに限定し間口を広げず興行きをモットーに努力を重ねた。ドイツ書の需要は年々増加したが、外貨余りの現在とは違い外貨の割り当て獲得に役所へ日参した当時を想うと昔日の感がある。昨今は無制限に輸入できるようになったがここ数年大学の図書費は頭打ち、その上理工

系が英語主体になり下降の一途を辿ったドイツ語も東西ドイツの統一、独検(独乙語検定試験)の開始等で復活の兆しが見えて来た。

幸い当社は「外国人の為のドイツ語」教材等の出版社 Max Hueber 社他数社の特約店として常時テキスト類の在庫を持っている。四十数年継続するとある程度の特色が出る、業界大手始め各社のご利用を頂いて感謝している。

海外でも不況とあって取引条件が厳しさを増しつつある。共存共栄のもと業界が一枚岩となって外圧に耐え内需の拡大に努め地盤の沈下を防ぎたいと願っている。

海外ニュース

初のバーチャル・ブックストア、 パリに6月オープン！

80 m のスペースに約30万冊の(仮想の)書籍をつめこんだバーチャル書店が、6月1日の開店を目指しパリ第6区に準備が進められている。名前も BABEL 3000。発案者はグラフィック・デザイナーで出版社 Mille et une nuits の創始者の一人である Nata Rampazzo 氏。

この書店には現実には1冊の本も置かれておらず、利用者は視野を覆うゴーグルと、仮想世界における体の動きを伝える光ファイバー手袋を装着する。実際には存在しない書棚の間を自在に歩き回り、CD-ROM 版 Electre Biblio (仏 Books in Print) に収録されている全書籍約30万冊の中から興味のある本を選びだすことになる。現時点では本の内容全てを見ることはできないが、タイトル頁と目次、表紙カバーなどを目にする事ができる。

新刊を始め特定のタイトルに関しては、内容の拾い読

みや、著者本人による音声説明や紹介文を読むことが可能になり、現在出版社や著者から利用権の承諾を得ている途中だという。これは最初は18,000冊のみ。書籍のほかカセットブック、ビデオ、CD、CD-ROM、CDI などが対象となる。

画期的なのは、個人がその場でキーボードを叩いて発注ができ、在庫があれば24時間以内に個人の自宅に商品を発送してくれる。

1994年3月18日付の Livres Hebdo 誌調査によると、フランス人の56%が書店を通さずに本を買っているという。Rampazzo 氏によれば、これは書籍を購入する習慣における文化的変容であり、消費者が求めているのは何よりも選ぶことだという。合衆国で既に定着しヨーロッパ大陸でも広まりつつある通信販売の形態を意識しつつ同氏がすすめるこの書店に、開店後どのような消費者の反応が見られるだろうか。少ない投資で済み在庫や返本の心配がないバーチャル書店は、新しい型の書店の先駆けとなり得るだろうか。

—Livres Hebdo No. 110 (1994年4月1日より抜粋)—

本郷界隈の坂 [17] 順天堂病院と近代の医学

丸善・本の図書館 鈴木 陽二

◆幕末におけるお雇いオランダ医師たち

ペリーによって太平の夢を破られ激動の時代に直面した幕府は、1855（安政2）年国防を目的に長崎に海軍伝習所を設立した。幕府がオランダ政府に要請した伝習所の教官を乗せ、ヤパン号が1857（安政4）年に長崎に到着して第2次の海軍伝習所がスタートしたが、このフリゲート艦は咸臨丸と命名され、後年万延元年の遣米使節派遣のうちに勝海舟や福沢諭吉などを乗せて太平洋を渡ることになる。ともあれ、この船で日本海軍育成に尽力したカッテンディーケ団長とともに幕府希望の軍医に選ばれたポンペ（J. L. C. Pompe van Meerdervoort）が来日した。弱冠28歳の彼こそお雇い外国人第1号で、日本近代医学の基礎工事を請け負った人物であった。

ポンペは1857（安政4）年11月12日に教習を始め、帰国する1862年（文久2）年までに133名の医学生を教えたが、その中から佐倉順天堂の佐藤泰然の子息松本良順、泰然の養子の尚中、佐々木東洋、岩佐純、伊東玄伯など、明治の医学界を指導した医学者が育っていった。授業を開始するやポンペは伝習生たちの科学知識の不足を知って、基礎学問習得のために物理・化学・動植物学や採鉱学までもカリキュラムに組み入れ、独りで科学一般から医学全般におよぶ神業的な教習を行った。彼はフランスで開発された紙製の人体模型キュンストレーキを使用し、また、医学を7課に分けて系統的に教育したのも初めてであった。きびしかったというポンペの教習が進み、受講希望の学生が増加するに従って付属病院設立の必要性を痛感し、松本良順と図って設立許可を幕府に申請する。しかし、そう簡単に行くはずもなく延引していたところ、1858（安政5）年にアメリカ船ミシシッピ号の船員からコレラが伝染した。「安政コレラ」と呼ばれたこの流行は猖獗を極め、全国的な蔓延で多数の死者が出て江戸だけでも3万人（20万人とも言う）にのぼった。ともあれ、これで幕府も病院の設立を認めることになり、1861（文久元）年に124ベッドの（長崎）養生所が生まれた。これが日本で初めての近代的な西洋式病院の誕生であり、長崎大学医学部の淵源となった。こうして、患者の実際の治療を通して臨床医学が飛躍的に進歩したのであるが、

彼の治療した患者数は14,530人にのぼった。

ポンペの後は、ボードイン（Antonius F. Bauduin）が後継者として赴任する。彼の日本滞在は1862（文久2）年から1870（明治3）年まで9年ほどの長さに及んで教えた門人も多く、1,000名を越える医師を育てた。長崎養生所は1865（慶応元）年に精得館と改名するが、ボードインはカリキュラムの中から物理学、化学を独立させ、医学所とは別に分析究理所の併設を幕府に求め、オランダからハラタマ（Koenraad Wouter Garatama）を招聘するよう働きかけて実現する。日本で化学実験を行ったのはハラタマが初めてであり、彼によってヨーロッパの最新の物理・化学の教習がスタートすることになった。

ボードインは日本の西洋医学制度の導入でオランダが主導権を握るために、ずいぶん政治的な運動を行った。分析究理所を江戸の開成所内に設置させてハラタマを送り込み、また江戸に医学校を開設する協定を幕府と締結したが、その努力のいかにもなく、間もなく幕府が崩壊して政権は明治政府に移る。幕府との協定は白紙となるが、明治政府はこの計画の続行を図り医学校と理化学学校を大阪におくことを決定して舎密局（せいみきょく）を設立し、ハラタマが教頭となる。また、ボードインも大阪府病院・大阪医学校に教職を得る。舎密局の流れは後年京都に移って第3高等学校へと発展し、大阪医学校は大阪大学医学部の源流となる。ちなみに「せいみ」とはオランダ語の化学“Chemie”の音を漢字に移したものである。私たちはボードインのもうひとつの恩恵に感謝しなければならない。明治政府は上野公園に医学校を設立する考えですでに計画が進行していたのが、ボードインの忠告によって中止し本郷の加賀屋敷跡に変更した。今日わたしたちが緑深い広い上野公園を見ることができるのはボードインのお陰によるものといえる。

幕府はオランダ医学を導入しようとお雇い医師をオランダに求め、その数は明治期を合わせて13名にものぼった。しかし、明治政府はドイツ医学に学ぶことを選んだ。ボードインの日本医学への貢献と、もしかして、オランダ医学を切った後ろめたさもあったのか、政府は彼の離日にあたり3,000両という法外な謝礼を贈った。

洋書輸入協会史 (87)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

101 英国の郵便料金大幅値上げとその影響（前号よりの続き）

101.3 英国郵便料金値上げのまとめ（前号よりの続き）

(一) 雑誌について（前号よりの続き）

（承前）以上の実情から、来年度の雑誌代価は、郵送料の改訂だけでなく、誌代を含めて予約価の改訂が行われる様相です。

(二) 書籍について

輸入されている英国書約2万点の代価の平均を計算した結果、1冊約£1—15—0と算出されました。これに対する平均郵便料金は約6.9%でありまして、これが40%値上げとなれば9.6%に相当することになります。これに対して米国の平均郵便料金は約8%であります。英国出版協会では、小売業者は大体 Invoice Value の2.5%の利益低下になるのではないかと発表しております。また今回の郵送料値上げを Penguin Books について見ますと、同双書は重量1ポンド当たり2～3冊、定価にして12/—～12/6dでありまして、郵送料は15%でありましたが、今回の値上げで21%位となる見込であります。幸い同出版社は仕切面で郵送料を18%に抑えて、これ以上の分は同社が負担するとの話であります。

尚、Freight Charge は従来通りでありますし、定価の高い部分に対しては影響は十分稀薄になりますが、小型本、廉価本については相当な負担となる次第です。（以下略）

101.4 平成6年の我国の郵便料金の値上げ

昭和38（1963）年7月1日からの英国郵便料金の大幅値上げに対しては、上記のように洋書輸入協会としてはデータを提供し、対応は各社の判断に任せる形をとっているが、この原稿を書いている最中の平成6（1994）年1月24日から、我国の郵便料金が大幅に値上げされる事態となり、その暗合に驚いている。

我国の場合は、葉書が41円から50円へ22%の値上げ、封書が62円から80円へと29%の値上げとなる。定期刊行物などの第三種郵便は1月と4月の二段階実施で、最終的には5割アップになる。通常郵便の速達代は、210円から270円への値上げで29%の値上げ。13年ぶりの大幅値上げであるが、もし値上げしなかったら93年度末の累

積赤字は1,700億円を超えるところだったとも言われている。いずれにせよ郵便制度の大口利用者から個人に至るでの影響は大きいと新聞は報じている。

洋の東西を問わず、郵便事情は似たりよったりなものであるし、値上げの影響を受ける側の事情も似たようなものであるとの感慨を催している次第である。

102 ふたたび返品とクレジットの問題

102.1 昭和35（1960）年度と36（1961）年度の同問題の経過再録

1992（平成4）年6月号（Vol. 26 No. 6）、7月号（Vol. 26 No. 7）、8月号（Vol. 26 No. 8）の3号に協会史 No. (70)、(71)、(72)を掲載したが、この3号にまたがる第79章で「返品とクレジットの問題」を記述した。その要旨は次のようなものである。即ち、遙か以前より問題がありながら潜ったままになっていた「返品とクレジット」の件が、昭和35（'60）年8月になって通産省から「書籍および定期刊行物には、返品などにより生じたクレジットの処理が規定通り行われておらず、多くの微細な違反が見られるので嚴重に注意するように」との指摘を受けている。

規定としては、一旦輸入決済した書籍を返品する場合には、外貨債権回収免除の許可を取得した上で代りの品を輸入し、輸出の承認を受けて返品することになっている。またクレジットを取得して次回の決済からその額を差し引く場合には、同じく外貨債権回収免除の許可を受けて、次回の輸入承認取得前に標準外決済の許可を受けなければならない。

大量の場合（滅多にないことであるが）はこの規定通りの手続きを踏むにしても、多品種少量販売の洋書の場合、返品とクレジットの問題は常に小額のものが日常的に発生しており、前記の正規の手続きを取ることはあまりにも煩雑で、つつい潜ってしまっているというのが実情であった。

そのために協会としては早速対策小委員会を発足させ、何度も会合を開いては検討を重ねて、通産省に対する要望書としてこれをまとめ、11月に長文のものを携えて理事会および小委員会のメンバーで通産省関係各課を訪問、説明と陳情を行った。

この要望書は、厳密に規定通りに解釈すればやらなければならない手続きを、あまりにも微細な金額が多く煩雑極まりないために、潜ったままになっている現状を前提とし、実際には規定と実情との乖離が甚だしく、規定通り実施することは不可能だと主張したいところを抑え、柔らかに規定の改正（管理の撤廃）を申し出ている苦心の作である。

理事会と小委員会とは、その後も通産省と折衝を続け、12月には、現行の為替管理が行われている限り、書籍だけに管理の撤廃をすることは出来ないとの見地から、標準外決済のいらない通産省と税関だけで済むような手続きの簡素化についての意見の一致を見、これが決定発表されるまでは現行の黙認を継続することとなり、更に手続きの細部の詰めを行っている。

しかし順調にいったのはここまでで、年末ぎりぎりになって無為替輸出の手続きは法規上廃止する訳にはいかないと通産省側に意見の変更があり、改正手続きの実施はこのあたりからトーンダウンしている。

昭和36（1961）年2月に入ると、今度は通産省の輸出課から連絡を受け、小委員会メンバー（丸善、紀伊國屋、海外出版）が訪問したが、輸出課としてはこの4月から貿易自由化の一環として輸出手続きを大幅緩和したいという議論が出ており、返品とクレジットの問題は輸出との関連があるために協会から現状の説明と意見を聞きたいということで、縷々説明を行った。

しかし、このような自由化の傾向と、現実問題として管理撤廃以外に洋書の微細な返品とクレジット問題を解決する途がないという法規の根本に触れる我々の希望とは、仲々解決の方途が見付からないという状態のまま推移せざるを得ず、理事会としても小委員会としても管理撤廃の時期到来までは目立たぬよう潜行する以外はあるまいという結論に達している。

102.2 昭和37（1962）年度の「返品とクレジットの問題」の推移

102.2.1 「返品とクレジット」の問題は、寧ろ厳しくなる傾向が出る

昭和37（1962）年9月10日の理事会で、海外出版貿易より次のような事例が報告された。即ち船便による返品の場合の通関は、現在は通産大臣から税関に移管されている。ところが移管されているのは「トリカエ」であるので、同じものと「取り替え」なければならないという解釈である。しかし現実問題として同じものと取り替え

るのは落丁、乱丁、損傷したものだけで、残りはすべて「売れる本」と取り替える。そこで税関から通産省に聞くと、通産省は「良い」というので税関は「シブシブ」通してくれる。こういうことが3～4回繰り返され、現状は通してはいるがシブシブである由。なおこの場合は船便であるので税関本館に行かねばならず、またそのためにひっかかっている。少量郵送の場合は問題が起っていない。

同年10月1日付通商弘報（No. 3945）に、「委託販売貿易契約により貨物を輸入する場合の事前許可について」と題する輸入注意事項が発表された。これは輸入貿易管理令の一部改正によって、委託販売貿易契約によって貨物を輸入しようとするときは、通産大臣に申請してその許可を受けた後でなければ、輸入の承認を受けることができないことになったものである。

昭和37（'62）年10月2日付JBIA No. 158で、協会はこのことを次のように会員に知らせている。

記

委託販売による輸入について

通商弘報3945号（10月1日付）に記載されております通り、輸入注意事項「委託販売貿易契約により貨物を輸入する場合の事前許可について」が発表され、今後委託販売による書籍の輸入も、事前許可並びに代金決済の報告が必要となりました。提出書類の要領は通商弘報に解説されておりますから御注意願います。事業許可の申請先は通商産業局又は通商事務所です。（以上）

102.2.2 通産省との懇談

昭和37（1962）年10月30日、理事会で通産省輸入課を訪問、担保率引下げの陳情を行った。ところがこの問題についてはいわゆる門前払いで、寧ろ委託についての話が出ている。それによれば、委託の諸手続きは銀行から通産局へ移した。これは貿易自由化で起る外資の攻勢を防ごうという目的もある。Consignmentの定義が、ユーザンスと混同されるようになってきたので、これをはっきりさせた。即ち(1)債務が確定していない(2)返品条項があるというのがConsignmentである。また国産品保護のためにはConsignmentは原則として1年以上は認めたくない、などなどであった。昭和30年代後半の貿易自由化の風潮に対し、通産官僚が国益を守るために苦心をしているさまが如実に見え、我々の業界の「返品とクレジットの問題」の枠を超えて興味深い話であった。（続く）

新着在庫

ケンブリッジ最新米語類語辞典

THE CAMBRIDGE THESAURUS OF AMERICAN ENGLISH

William D. Lutz編 515頁 ISBN0-521-41427-X ハードカバー版 ¥3,630(税別)

英文を書いているとき——
適切な言葉が思いつかばないとき——
ほかの言葉に言い換えたいとき——

引きやすく、理解しやすいアルファベット順配列

シソーラスとはラテン語で知識の宝庫、宝典の意味ですが、同義語、類義語を意味により体系的に分類した類語・関連語辞典を指してこう呼びます。

1852年にP.M.ロジェが初めてシソーラスを出版した際、彼は当時の哲学、科学思想を基礎に人間生活全体を1000の概念に分類しました。そして単語を意味上の類縁性によって区分し、各概念とその意味内容に関連する語を集めて配列しました。ロジェのシソーラスは長年にわたり多くの読者に愛されてきましたが、探したい語が彼の分類のどこに含まれるのかが解り難い面がありました。

このケンブリッジ最新米語類語辞典は、見出し語がアルファベット順に配列され、共通の意味をもつ語(類語)が一ヶ所に集まるように配慮されています。ですから目的の語を求めて辞典のあちこちを探しまわる必要はありません。

- 200000語以上の同意語、反意語を豊富に収録。
- 米語の句動詞、慣用表現を幅広く収録。(when the chips are down, play it by ear, carry on, ease off等々)
- 同義語／類義語は頻用性、一般性で配列。
- 俗語／俗語表現はその旨を明示。



CAMBRIDGE
UNIVERSITY PRESS

日本総代理店
ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

1994年6月 通巻第325号 洋書輸入協会

編集者 神田 俊二

〒103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03) 3271-6901 FAX. (03) 3271-6920

印刷所＝藤本総合印刷株式会社